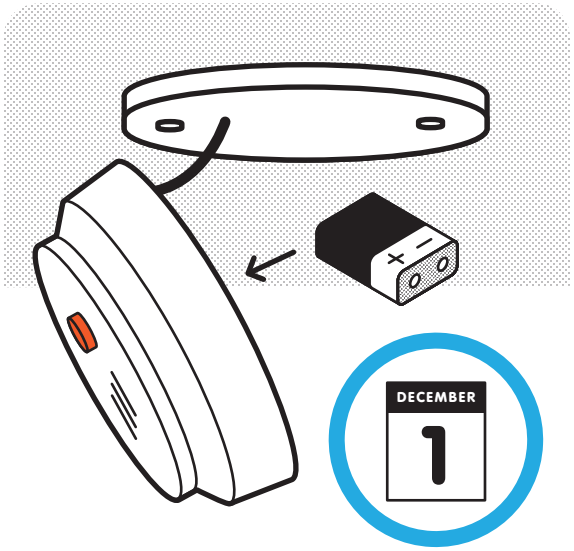
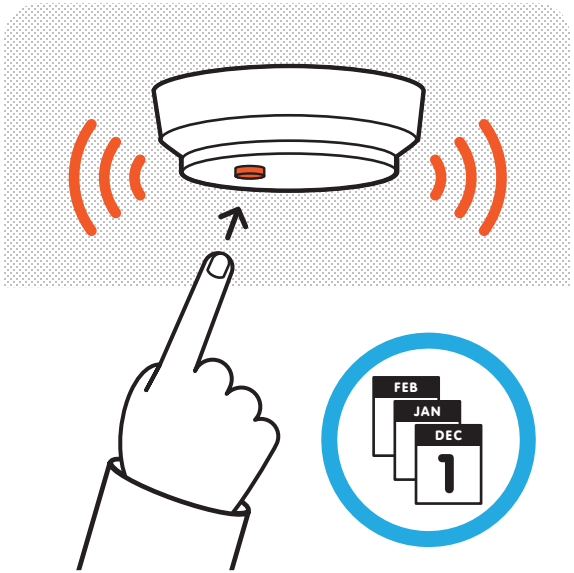
Norsk
brannvernforening

家庭における
火災安全対策

火災報知器

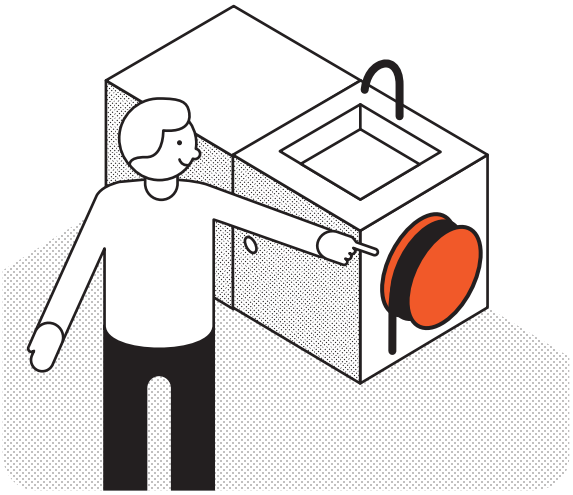
全ての家には少なくとも１台の火災報知器が設置されていなければなりません。火災報知機は、火災が発生した際、早い段階で警報を鳴らします。通常の報知器は年に一度、電池を交換する必要があります。テストボタンを使い、定期的に火災報知機の検査を行ってください。

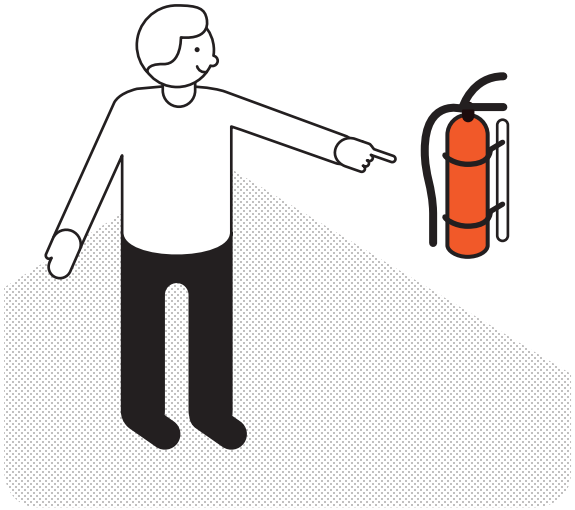


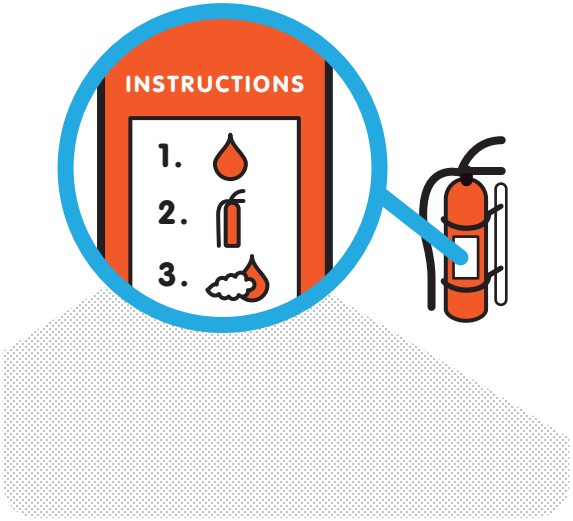


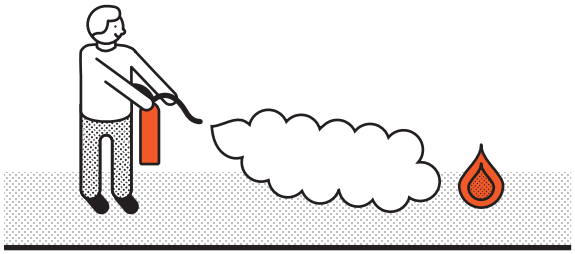
消火器

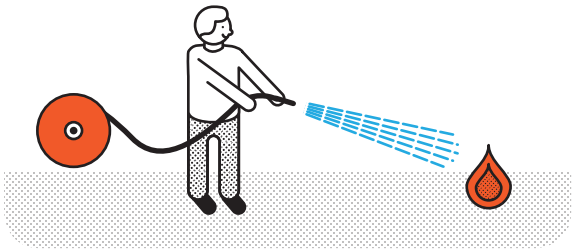
全ての家には消火ホースもしくは消火器が設置されていなければなりません。二つとも揃っているのが良いでしょう。この火災安全装置はすぐに使えるようにしておいてください。使用上の説明書をよく読んでおいてください。









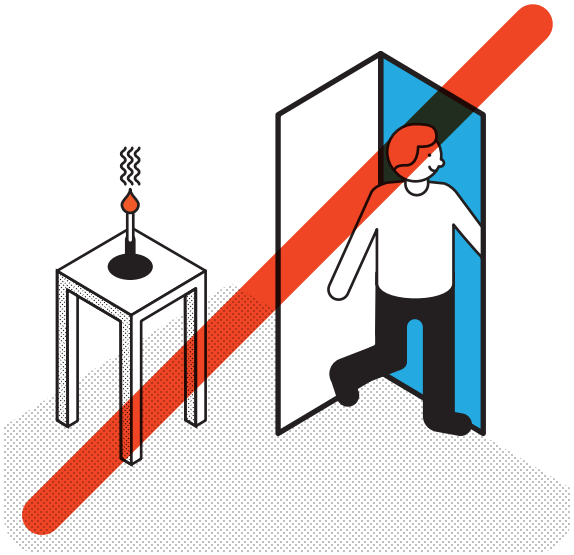


火災予防1

裸火を使用の際は注意してください。ろうそくの火がついたまま放置しないでください。可燃性の物の近くにろうそくを置かないでください。

灰皿はきちんと片付けてください。熱いままの灰をゴミ箱に捨てないでください。

コンロに火をつけたまま、放置しないでください。もしコンロを使用中に用ができた場合は、一旦火を止めてください。

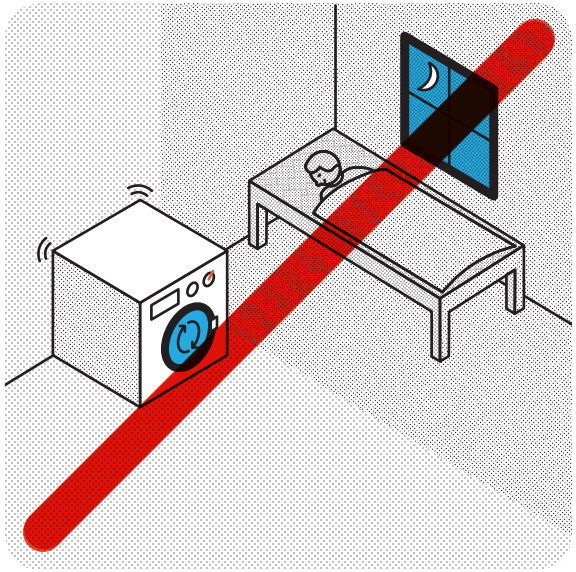


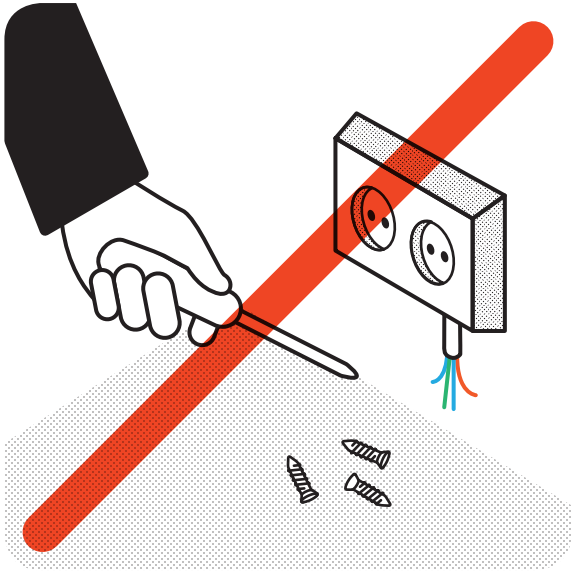
火災予防2

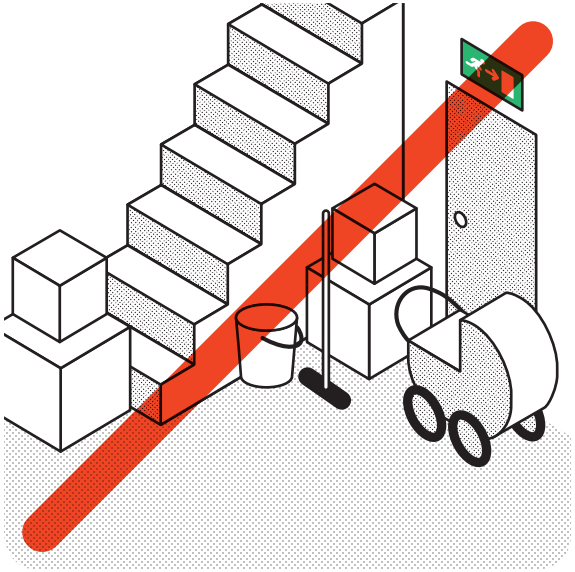
洗濯機と乾燥機は、必ず止めてから外出してください。就寝の際、これらを運転したままにしないでください。

電気設備の設置や修理は、認可を受けたインストーラーにのみ認められています。

放火のケースのうち、多くはビル内の物資、ダンボールやごみなどから発生しています。階段ホールやガレージには可燃性の物を置かないでください。ごみ収集箱は建物から適当に離れた場所においてください。







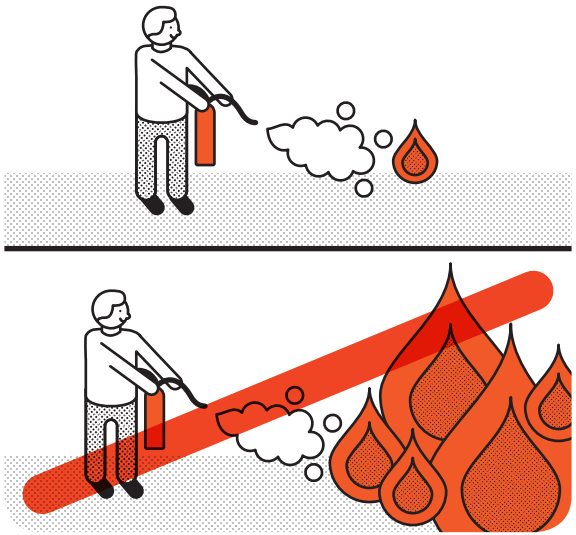
火災発生の場合

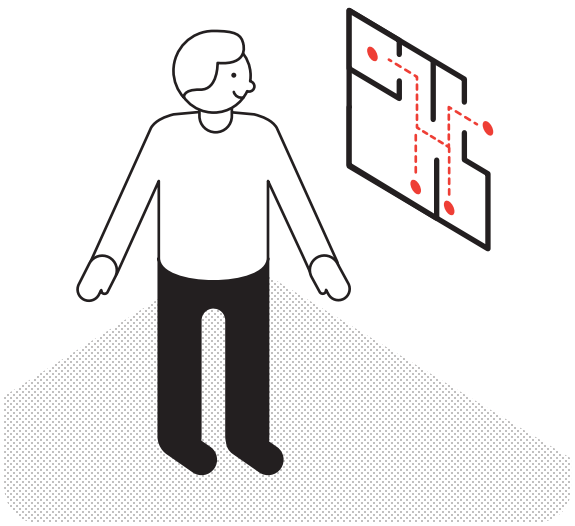
1)避難:
建物内にいる全員が安全に避難するのを確認してください。ドアと窓を閉めてください。事前に知らされた避難場所に集合してください。

2)通報:
緊急電話番号110で、消防車を呼んでください。火災発生の建物の住所を正確に伝えてください。

3)消火:
火災がそれほど広がっていない場合、消火ホースと消火器で消火作業にあたってください。危険な場所には立ち入らないこと。煙は非常に危険です。

状況を判断し、どれを先に行うべきか自分自身で判断してください。定期的に火災予防訓練を行うのが効果的でしょう。





Norsk brannvernforening

インターネット：www.brannvernforeningen.no
Eメール：post@brannvernforeningen.no

このパンフレットは多言語に翻訳されており、www.brannvernforeningen.no.
からダウンロードすることができます。このパンフレットはノルウェー財務省
(Finansnæringens Fellesorganisasjon – FNO)の支援により作成されています。